※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　学　看護総合科

教科	学　看護総合	科目	(学)コミュニケーション入門	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	プリント教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コミュニケーションについては、体験的に学ぶことが大切です。
協働してワークに取り組む中で自分の存在や周囲の人々の存在の大切さを実感し、社会生活に生かせるコミュニケーション能力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

自己理解、他者理解、アサーション、ストレスマネジメントなどを段階的に学びながら、自分や他人の心について理解し、より良いコミュニケーションを構築する力を身につける。
(a) エゴグラムなどの分析結果から自己理解を深める。また、多様性を理解し他者を思いやる心と、よりよい関係を構築するための対人スキルを身につける。
(b) 様々なワークを通して体験的に学んだ知識を生かし、状況に応じて適切に活用できるようになる。
(c) 自分の身近なことだけでなく社会全体の課題にも関心を持ちながら、より良い人間関係構築に向けて主体的かつ協働的に取り組む力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コミュニケーションの基礎となるスキルを学び、得た知識をもとに、日々の生活でどのように生かしていけるかを考える。	より良い人間関係構築をめざす上で必要な知識を身につけ、状況に応じて適切に活用できる力を身につける。	より良い人間関係構築に向けて主体的かつ協働的に取り組む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自己理解	・エゴグラム ・ジョハリの窓 ・リフレーミング	a: 語句の意味や取組の目的を理解できたか b:学んだ知識をワークで活用することができたか c: ワークに主体的に取り組み、今後の生活に生かすイメージが持てたか	・提出物	・提出物 ・授業への取組み	・授業への取組み ・振り返り
	他者理解	・一方通行と双方向のコミュニケーション ・傾聴 ・アクティブリスニング ・アサーション	a: 語句の意味や取組の目的を理解できたか b:学んだ知識をワークで活用することができたか c: ワークに主体的に取り組み、今後の生活に生かすイメージが持てたか	・提出物 ・授業内テスト	・提出物 ・授業への取組み	・授業への取り組み ・振り返り
2学期	多様性の理解	・認知 ・多様性の理解 ・世界の現状と課題 ・ストレスマネジメント ・アンガーマネジメント	a: 語句の意味や取組の目的を理解できたか b:学んだ知識をワークで活用することができたか c: ワークに主体的に取り組み、今後の生活に生かすイメージが持てたか	・提出物	・提出物 ・授業への取組み	・授業への取り組み ・振り返り
	実践活動	・ふれあいの家訪問準備 ・ふれあいの家交流会	a: 高齢者の実態を理解して企画を考えることができたか b:これまでに学んだ知識を交流会で活用することができたか c: 交流会に主体的に取り組み、今後の生活や社会に生かすイメージが持てたか	・提出物 ・授業内テスト	・提出物 ・授業への取組み	・授業への取組み ・振り返り
3学期	強みの活用	・私の強み ・ありがとうの花束 ・人生すごろく	a: 語句の意味や取組の目的を理解できたか b:学んだ知識をワークで活用することができたか c: ワークに主体的に取り組み、今後の生活に生かすイメージが持てたか	・提出物	・レポート	・授業への取組み ・振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度